

平安神宮崇敬会

「第21回 講演会」のご案内

山科家は装束の調進と着装を家職として現代まで継承してきました。

今回はその「装束の世界」を残された文書や写真などをご紹介しますながら紐解く講演会を開催いたします。（※宝物の展示も予定しております）

また、令和の御代替りによせて、御即位にまつわる装束についてもご説明頂きます。

皆さまお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

平安神宮崇敬会



記

1、日時：令和元年7月7日（日）午後1時30分～午後3時00分

2、演題：『令和の御代に伝える宮廷装束』

3、講師：やましな ときちか 山科言親先生（衣紋道山科流若宗家）



【講師略歴】

衣紋道山科流 30代家元後嗣。

代々宮中の衣装である“装束”の調進・着装を伝承している。
NHK「日曜美術館」出演や歴史番組の衣装考証を行う。

「言緒卿記にみる舞楽装束・調進の記録」「近世公家社会の成り立ちと実情」など講演会多数。

また、山科家の旧別邸である源鳳院では「蹴鞠と御能」

「江戸時代の山科家と有職織物」など宮廷文化を題材にした講演会の監修も手掛ける。

1995年生まれ、京都大学大学院在籍。

4、会場：平安神宮社務所 記念殿ホール

5、申込方法：FAX 075(761)0225 ※電話でも可。TEL075-761-0221
(下記の申込書をご利用下さい)

6、締め切り：**7月5日（金） ※聴講無料**

	ご芳名	ご連絡先
①	様 ()	—
②	様 ()	—
③	様 ()	—

(一般)